

「授業構想力評価スタンダード（英語科）」

観点／段階	段 階 1	段 階 2	段 階 3
A. 授業構想力			
1. 学習者の把握			
1) 学習者の実態把握	学習者の一般的な発達段階を把握し、学習に取り組む学習者の姿勢をクラス全体として把握している。	学習者の一般的な発達段階を把握し、学習に取り組む学習者の姿勢をクラス全体として把握していると同時に、個々の学習者の実態（学習意欲、リーダーシップ、理解度興味・関心、人間関係、英語能力の発達段階など）を把握している。	学習者の一般的な発達段階を把握し、学習に取り組む学習者の姿勢をクラス全体として把握していると同時に、個々の学習者の実態（同左）を把握している。さらに、指導上の配慮事項や対策を具体的に準備している。
2) 学習への構え・ルールづくり	学習者の学びを妨げないような授業規律が形成されている。	学習者の学びを妨げないような授業規律が形成されているとともに、意見や質問をしやすい授業風土がある。	学習者の学びを妨げないような授業規律が形成されているとともに、意見や質問をしやすい授業風土がある。さらに、学習者が積極的に英語を使用できる雰囲気がつくられている。
2. 目標の分類と設定	学習指導要領に示された理念を理解し、授業の目標を、①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②表現の能力、③理解の能力、④言語や文化についての知識・理解、の各観点から捉えて設定している。	学習指導要領に示された理念を理解し、授業の目標を、①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②表現の能力、③理解の能力、④言語や文化についての知識・理解、の各観点から捉え、学年・学期・単元の見通しをふまえて、設定している。	学習指導要領に示された理念を理解し、授業の目標を、①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②表現の能力、③理解の能力、④言語や文化についての知識・理解、の各観点から捉え、学年・学期・単元の見通しをふまえて、設定している。また、ルーブリックを作成するなど、組織的かつ段階的な目標を提示している。
3. 授業構成			
1) 教育内容の構成	①言語材料 学習対象となっている言語項目について、学習文法等の観点から整理して教育内容を構成している。 ②題材内容 題材内容について、言語的な観点、文化的な観点、グローバルな観点などから理解して教育内容としている。	①言語材料 学習対象となっている言語項目について、学習文法等の観点から整理し、学習者の日常及び具体的な使用場面と関連づけて教育内容を構成している。 ②題材内容 題材内容について、言語的な観点、文化的な観点、グローバルな観点などから理解し、学習者の日常に関連づけて教育内容を構成している。	①言語材料 学習対象となっている言語項目について、学習文法等の観点から整理し、学習者の日常及び具体的な使用場面と関連づけて教育内容を構成している。同時に、4技能やコミュニケーション活動と有機的に関連づけて構成している。 ②題材内容 題材内容について、言語的な観点、文化的な観点、グローバルな観点などから理解し、学習者の日常に関連づけて教育内容を構成している。さらに、単に知って理解する段階から、将来の何らかの思考や行動を喚起する段階へと発展させられるように教育内容を構成している。
2) 教材(題材)の選択・構成	学習者の発達段階による興味・関心に応じた教材を選択している。	学習者の発達段階による興味・関心、及び、英語習熟度に応じた教材を選択している。	学習者の発達段階による興味・関心、及び、英語習熟度に応じた教材を選択している。さらに学習者の実態や授業の状況に合わせて教材を再構成している。
3) 授業過程の組織	①過程全体 導入・展開・まとめの流れがある授業過程を組織している。	①過程全体 導入・展開・まとめの流れがある授業過程を、4技能（スピーキング、リスニング、ライティング、リーディング）の統合的指導を意識して組織している。	①過程全体 導入・展開・まとめの流れがある授業過程を、4技能（同左）の統合的指導を意識して組織している。さらに「英語を学ぶ場」と「英語を使う場」を体系的・相互補助的に位置づけている。

観点／段階	段 階 1	段 階 2	段 階 3
	②ウォームアップ (学習者が英語授業へ入りやすい雰囲気づくりのための)ウォームアップ活動を準備している。 ③新出事項の導入 新出事項の明示的・説明的な導入を準備している。 ④コミュニケーション活動の構成 教育内容を反映しつつ、状況が設定された意味のあるコミュニケーション活動を構成している。	②ウォームアップ 前時の学習内容や学習者の日常生活と関連性のあるウォームアップ活動を準備している。 ③新出事項の導入 既習の文法事項と未習の文法事項の対比を用いた新出事項の明示的・説明的な導入を準備している。 ④コミュニケーション活動の構成 教育内容を反映しつつ、状況が設定された意味のあるコミュニケーション活動を、学習者の発達段階や興味・関心、人間関係を把握して構成している。	②ウォームアップ 前時の学習内容や学習者の日常生活と関連性があり、本時の内容へ自然に入れるようなウォームアップ活動を準備している。 ③新出事項の導入 コミュニケーションの文脈の中で、既習の文法事項と未習の文法事項の違いから生じるつまづきに学習者自らが気づくことができるように導入を構成している。 ④コミュニケーション活動の構成 教育内容を反映しつつ、状況が設定された意味のあるコミュニケーション活動を、学習者の発達段階や興味・関心、人間関係を把握して構成している。さらに、学習者に、自身のコミュニケーション能力に関する課題を意識させたり、活動を通して課題に気づかせたりできるように構成している。
4) 学習法・学習形態の選択・組織	英語を「学ぶ活動」と「英語を使う活動」を設定している。個人の活動と集団の活動（ペアワークやグループワーク）を設定している。	英語を「学ぶ活動」と「英語を使う活動」を、授業の目的に合わせて選択・構成している。個人の活動と集団の活動（同左）を、授業の目的に合わせて選択・構成している。	「英語を学ぶ活動」と「英語を使う活動」を、授業の目的に合わせて選択・構成している。さらに、 <u>学級の雰囲気や個々の学習者の実態（人間関係や習熟度等）をふまえて構成している。</u> 個人の活動と集団の活動（同左）を、授業の目的に合わせて選択・構成している。 <u>さらに、学級の雰囲気や個々の学習者の実態（人間関係や習熟度等）をふまえて構成している。</u>
4. 単元計画（授業計画）			
1) 単元（授業）計画の作成	単元の目標を達成できるように単元計画が構成され、教育内容、指導過程、時間配分の関係性を明示している。	<u>過去に学習した単元や将来学習する単元との関連の中で本単元を捉え、単元目標を達成できるように単元計画が構成され、教育内容、指導過程、時間配分の関係性を明示している。</u>	<u>個々の学習者の英語コミュニケーション能力の習熟状態や、過去に学習した単元や将来学習する単元との関連の中で本単元を捉え、単元目標を達成できるように単元計画が構成され、教育内容、指導過程、時間配分の関係性を明示している。</u>
2) 学習指導案の作成	本時の目標、授業の展開、使用教材、評価など学習指導案の一般的な形式項目を理解し、授業計画を記述することができる。	本時の目標、授業の展開、使用教材、評価など学習指導案の一般的な形式項目を理解し、 <u>授業展開の意図が読み取れるように授業計画を記述することができる。</u>	本時の目標、授業の展開、使用教材、評価など学習指導案の一般的な形式項目を理解し、 <u>授業展開の意図が読み取れるように授業計画を記述することができる。同時に、予測される学習者の行動や指導上の留意点についても適切に記載している。</u>
3) 学習評価計画の作成	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②表現の能力、③理解の能力、④言語や文化についての知識・理解、の観点ごとに、評価活動を計画している。	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②表現の能力、③理解の能力、④言語や文化についての知識・理解、の観点ごとに、 <u>学年・学期・単元の見通しをふまえて、評価活動を計画している。</u>	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②表現の能力、③理解の能力、④言語や文化についての知識・理解、の観点ごとに、 <u>学年・学期・単元の見通しをふまえて、評価活動を計画している。また、具体的な評価方法や評価基準を組織的に設定している。</u>